

益子町立小学校体育館空調設備設置工事

建築主 益子町
設計 株式会社フケタ設計

- 6-39カーテン**（標仕20. 2. 16）

・既存再利用する（養生方法： ） ・新設する

施工箇所	形式				開閉装置			ひだの種類	品質等
	シングル	ダブル	片引	引分	電動	ひも	手引		

- 6-40カーテンレール**（標仕20. 2. 16）

・既存再利用する（養生方法： ） ・新設する

材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製
形式 ・片開き ・引き分け（暗幕用は300mm以上の召合わせの重掛けとする）
・シングル ・ダブル
断面形状 ◎C型 ・D型 ・角型

- 6-41ブラインドボックス及びカーテンボックス**（標仕20. 2. 16）

・既存再利用する（養生方法： ） ・新設する

・市販品（アルミニウム製 押出し型材）
溝幅×深さ（mm） ・90×150 ◎120×80 ・120×150 ・150×80
色彩 ◎B-1 ・B-2（◎ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー）
・図示

- 6-42天井点検口**

材質 アルミニウム製（◎縁縁タイプ ・目地タイプ）
製造所：評価名簿による

- 6-43床点検口**

材質 アルミニウム製（受け枠 ◎アルミ製 ・ステンレス製）
製造所：評価名簿による

- 6-44くつふきマット**

市販品
材質 ・塩化ビニル製（コイル状ステンレス製受枠）
・鍍質アルミニウム製（受枠とも）
・ビニル製（ステンレス製受枠）
・ステンレス製（受枠とも）

- 6-45浴室ユニット**（公仕仕20. 2. 15）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による ）
種類、形状、寸法（内法）、材質（ ）

- 6-46キッチンキャビネット**（公仕仕20. 2. 16）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による ）
種類 ◎たがけ材付付 （◎I型 ・II型） ・たがけ材付
流し台、調理台、コック台、吊り戸棚等の形状、寸法 ◎設計図による
カウンタートップ及びシンクの材質 ◎ステンレス
付属部品 ◎水切り棚 ・

- 6-47郵便受箱**（公仕仕20. 2. 17）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による ）
形状 ・縦型 ◎横型 寸法 （ × ）

個数（ ）個
材質 ◎ステンレス ・

- 6-48手すりユニット**（公仕仕20. 2. 18）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による ）

名称	種類	材質	形状	寸法（支柱間隔、高さ等）	支持方法
墜落防止手すり	廊下用	・7t&t	・手すり子	◎設計図による	・床支持
		・ｽﾏｰﾙ			
	・ｽﾌﾟﾘﾝｽ	・方立て支持			
ﾊﾞﾙｺｰﾝ用	手すり子	・7t&t	手すり子	◎設計図による	・床支持
		・ｽﾏｰﾙ			
・窓用	手すり子	・7t&t	手すり子	◎設計図による	・壁支持
		・ｽﾌﾟﾘﾝｽ			

- 6-49補助手すり**（公仕仕20. 2. 19）

公共住宅の品質及び性能（「品質・性能基準」による ）

名称	材質	形状	寸法	設置場所
◎廊下階段手すり	◎合成樹脂被覆7t&t手すり			
◎補助手すり	・樹脂被覆ｽﾌﾟﾘﾝｽ手すり			
	・集材材ｸﾞﾗﾌﾞｶﾞｶﾞ塗り			

7章 塗装改修工事

〇7-1材料（7. 1. 3）

屋内の壁 ・天井仕上げ材は防火材料とする。
建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒドの放放量 ◎規制対象外 ・第3種

〇7-2下地調整（7. 2. 2～7）（表7. 2. 1～7）

下地面等	種別
木部	・RA種 ◎RB種 ・RC種
鉄鋼面	・RA種 ◎RB種 ・RC種
亜鉛めっき鋼面	・RA種 ◎RB種
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	◎RA種 ・RB種
モルタル面及びせっこうプラスター面	・RA種 ◎RB種 ・RC種
コンクリート面及びALCパネル面	・RA種 ◎RB種 ・RC種
せっこうボード面及びその他ボード面	・RA種 ◎RB種 ・RC種

既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修
◎行わない ・行う（補修範囲及び補修方法は図示による。）

- 7-3素地ごしらえ**（7. 3. 2～7）（表7. 3. 1～7）

下地面等	種別	
木部	不透明塗料塗りの場合	◎A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	・A種 ◎B種
鉄鋼面	DP以外	・A種 ・B種 ◎C種
	DP	・A種 ◎B種 ・C種
亜鉛めっき鋼面		・A種 ・B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		・A種 ◎B種

コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面	・A種 ◎B種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）	・A種 ・B種
コンクリート面（DPのみ）	・A種 ◎B種
せっこうボード面及びその他ボード面	◎A種 ・B種
	・A種 ◎B種

- 7-4錆止め塗料塗り**（7. 4. 2. 3）（表7. 4. 1～6）

	下地面等	塗料	工程
鉄鋼面	SOP	塗替え	◎A種 ・
	仕上塗料なし	新規見え掛り	◎A種 ・
		新規見え隠れ	◎B種 ・
			◎C種 ・
DP	塗替え	改修標仕7. 4. 2(1)(f)(b)による	・A種（下地調整RA種）
			・B種（下地調整RB種）
			・C種（下地調整RC種）
EP-G	塗替え	改修標仕7. 4. 2(1)(f)(a)による	・A種 ・
	新規見え掛り	◎B種 ・	◎C種 ・
	新規見え隠れ	◎B種 ・	◎B種 ・
亜鉛めっき鋼面	SOP	塗替え	◎A種 ・
	仕上塗料なし	新規鋼製建具等	◎A種 ・
		その他	◎B種 ・
			◎B種
DP	塗替え	◎B種 ・	-
	新規	◎B種 ・	-
EP-G	塗替え	◎C種 ・	◎C種 ・
	新規鋼製建具等	◎C種 ・	◎A種 ・
	その他	◎C種 ・	◎B種

〇7-5各種塗料塗り（7. 5. 1～7. 13. 2）（表7. 5. 1～7. 13. 1）

塗装	塗装面	工程	
		塗替え	新規
<ul style="list-style-type: none">合成樹脂調合ベイント塗り（SOP） 塗料の種類 ◎1種 ・2種	木部 屋外	◎B種	◎A種
	木部 屋内	◎B種	◎B種
	鉄鋼面	◎B種	・A種 ◎B種
<ul style="list-style-type: none">アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD） 耐候性塗料塗り（DP）	屋内のコンクリート面	◎B種	◎B種
	モルタル面	◎A種	◎B種
	鉄鋼面	-	-
	上塗り		
<ul style="list-style-type: none">1級（フッ素樹脂塗料） 2級（アクリルシリコン樹脂塗料） 3級（ポリウレタン樹脂塗料）	亜鉛めっき鋼面	-	-
	上塗り		
	1級（フッ素樹脂塗料）		
<ul style="list-style-type: none">2級（アクリルシリコン樹脂塗料） 3級（ポリウレタン樹脂塗料）	屋内コンクリート面	◎B種	◎B種
	モルタル面	◎A種	◎B種
	コンクリート面	◎B種	◎B種

	<ul style="list-style-type: none">A-1種 ・A-2種 B-1種 ・B-2種 C-1種 ・C-2種	<ul style="list-style-type: none">A-1 B-1 C-1
押出成形セメント板面	<ul style="list-style-type: none">A-1種 ・A-2種 B-1種 ・B-2種 C-1種 ・C-2種	<ul style="list-style-type: none">A-1 B-1 C-1

<ul style="list-style-type: none">つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP-G）	屋内木部	◎B種 ・	◎A種 ・
	屋内鉄鋼面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	屋内亜鉛メッキ鋼面	◎A種 ・	・A種 ・B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	モルタル面	◎B種 ・	・A種 ・B種
<ul style="list-style-type: none">合成樹脂エマルジョンペイント塗り（EP）	せっこうプラスター面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうボード面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	塗装面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	コンクリート面	◎B種 ・	・A種 ・B種
<ul style="list-style-type: none">合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り（EP-T）	モルタル面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうプラスター面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	せっこうボード面	◎B種 ・	・A種 ・B種
	木部等	◎B種 ・	・A種 ・B種

ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
ラッカーエナメル塗り（LE）		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
クリヤラッカー塗り（CL）		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・ステイン塗り	木部		

<ul style="list-style-type: none">木材保護塗料塗り（WP） 水性ウレタン樹脂塗料塗り ●2液弱溶剤シリコーン系サーモシ同等品	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種

・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・ラッカーエナメル塗り（LE）		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・クリヤラッカー塗り（CL）		・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・ステイン塗り	木部		

・木材保護塗料塗り（WP）	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
・水性ウレタン樹脂塗料塗り	木部	・A種 ◎B種	・A種 ◎B種
●2液弱溶剤シリコーン系サーモシ同等品	金属屋根部		

合成樹脂調合ベイント塗りの塗料の種類 ◎1種			
8－1章 耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事			

- 8-1-1鉄筋の種類等**（8. 2. 1）（表8. 2. 1）

規格	種類の記号	使用箇所	呼び名（mm）
鉄筋コンクリート	・SD295A		◎D16以下・
用棒筋（異形鉄筋）	・SD345		◎D19以上・
	・		

- 8-1-2溶接金網**（8. 2. 2）

形状等	種類	種類の記号	綱目の形状、寸法	鉄線の径（mm）	使用部位
<ul style="list-style-type: none">溶接金網 鉄筋格子		◎100×100	・	◎6. 0	・

- 8-1-3鉄筋の継手**（8. 3. 4）（表8. 3. 3）

柱及び梁の主筋、耐力壁の鉄筋
・重ね継手（L＝ ） ・ガス圧接継手 ・機械式継手 ・溶接継手

- 8-1-4鉄筋及び溶接金網のかぶり厚さ**（8. 3. 5）（表8. 3. 6）

鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さは、目地底から算定する
・耐久性上不利な箇所での鉄筋の最小かぶり厚さは下記による

施工箇所	改修標仕表8. 3. 6の値に加える長さ
<ul style="list-style-type: none">柱、梁、壁及び庇などの外気に接する打放し面 ◎10mm 柱及び梁の主筋にD29以上の鉄筋の使用 無 ・有（適用箇所： ）主筋のかぶり厚さ・最小かぶり厚さ（ ）mm	

- 8-1-5帯筋**（8. 3. 4）

帯筋の組立の形
各部配筋参考図I. 11による
・H形 ・W－1形 ・W－Ⅲ形

- 8-1-6圧接完了後の圧接部の試験**（8. 3. 8）（標仕5. 4. 10）

・耐震改修 ◎外観試験（全数） ◎超音波探傷試験（全数）
・耐震改修以外 ◎外観試験（全数） ◎超音波探傷試験（ ） 引張試験（ ）

- 8-1-7コンクリートの種類及び強度**（8. 1. 3. 4）（表8. 1. 1）

レディーミクストコンクリートの種別 ◎I類 ・II類				
普通コンクリートの設計基準強度				
設計基準強度Fc（N/mm ² ）	気乾単位容積質量（t/m3）	スラブ	通用箇所	施工時期
◎21	2. 3程度	◎18		
		・15または18		

- 8-1-8普通コンクリートの材料**（8. 2. 5）（8. 6. 4）

セメントの種類
◎普通ポルトランドセメントまたは混合セメントのA種
・高炉セメントB種〔G〕
普通ポルトランドセメントの品質はJIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。
水和熱

7d	352J/g以下
28d	402J/g以下

混和材質
混和剤の種類
◎混和剤（JIS A 6204によるAE剤、AE減水剤または高性能AE減水剤とし、化学混和剤の塩化物イオン量による区分はI類とする。
・混和材（JIS A 6201によるフライアッシュのI種またはII種、JIS A 6206に適合する高炉スラッグ微粉末またはJIS A 6202に適合する膨張剤
使用骨材のアルカリシリカ反応性による区分
・A ・B（コンクリート中のアルカリ総量R t＝3. 0kg/m³）

- 8-1-9レディーミクストコンクリート工場の選定**

レディーミクストコンクリート工場の選定においては、改修標仕8. 5. 1（コンクリート製造工場の選定）によること、かつ、配合設計及び品質管理等を適切に実施できる工場（全国品質管理調査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場）から選定することを基本とする。ただし、上記工場が工事現場近くに見当たらない場合は、監督員との協議により選定することとする。

- 8-1-10モルタル及びグラウト材**（8. 2. 12）

柱底等の均しモルタル ◎無収縮モルタル ・標仕7. 10. 2によるB種
グラウト材 ◎無収縮グラウト材
無収縮モルタル及び無収縮グラウト材は、評価名簿による

- 8-1-11打放し面の打増し**

打増し厚さ（外部に面する部分） ◎20mm
打増し厚さ（内部に面する部分） ◎10mm ・20mm
打増し範囲 ◎意匠図による ・

- 8-1-12無筋コンクリート**（8. 11. 1～3）

種類	設計基準強度Fc（N/mm2）	スラブ（cm）	組骨材の最大寸法	適用箇所
◎普通コンクリート	◎18	・15 ・18	◎25mm	

- 8-1-13鉄骨の製作工場**（8. 1. 5）

製作工場の加工能力
・監督職員の承諾する製作工場
・建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センターまたは（株）全国鉄骨評価機構（（旧）（社）全国鉄鋼工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（ ）グレード以上」として国土交通大臣から認定を受けた工場

- 8-1-14入熱、パス間温度の溶接条件**

適用箇所 ◎柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示（ ）
鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ◎図示

- 8-1-15施工管理技術者**（8. 1. 5）

◎適用する

- 8-1-16鋼材**（8. 2. 8）（表8. 2. 7）

鋼材の材質	種類の記号	使用箇所	規格等
			◎JIS規格による

- 8-1-17溶接接合**（8. 15. 7）

スカラップ ◎改良型スカラップ ・
エンドタブの切断 ・行わない ・行う

適用箇所 ・全て ・図示（ ）

- 8-1-18高力ボルト**（8. 2. 9）（標仕7. 12. 4）

◎トルシア型高力ボルト ・JIS型高力ボルト ・溶融亜鉛メッキ高力ボルト
摩擦面の処理（◎プラスト処理 ・りん酸処理）

- 8-1-19鉄骨工作仮組**（8. 13. 10）

◎行わない ・行う

- 8-1-20溶接部の試験**（8. 15. 11. 12）

完全溶け込み溶接の超音波探傷試験 ◎行う
現場隅肉溶接部の外観検査 ◎行う（検査箇所 構造耐力上主要な部分である継手・仕口）

- 8-1-21錆止め塗料塗り**（8. 17. 3）

耐火被覆材の接着する面の塗装 ◎行わない ・行う（ ・JIS K 5622 ・ ）

- 8-1-22耐火被覆**（8. 18. 2～7）

種別	所要性能及び適用構造区分
<ul style="list-style-type: none">ラス張りモルタル塗り 耐火材吹付け	<ul style="list-style-type: none">乾式吹付けロックウール 半乾式吹付けロックウール 湿式ロックウール ・
<ul style="list-style-type: none">耐火板張り 耐火材巻き付け	

- 8-1-23既存コンクリートの目荒**

・8-2-5耐震スリットの施工 (8.25.2)

- 耐震スリット部の配管等の探査
 - ◎探査器により探査し、配管等の位置の墨出しを行う ・はつり出し
- 充填材
 - ◎外壁に配置された耐震スリット材は耐火性能及び止水性能を有するものとし、その他は図示による。

9章 環境配慮工事

・9-1アスベスト粉じん濃度測定 (9.1.1)

- アスベスト粉じん濃度測定
 - ・行う (測定名称及び測定点は下表による)
- 測定箇所 ◎図示 ・下表による

測定名称	測定時期	測定場所	測定点 (各施工箇所ごと)	備考
・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	—
・測定2		施工区画周辺または敷地境界	計点	—
・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	—
・測定4		セキュリティゾーン入口	各点	空気の流れを確認
・測定5		負圧・除じん装置の排出口 (処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認
・測定6		施工区画周辺または敷地境	計点	—
・測定7	処理作業後	処理作業室内	各点	—
・測定8	隔離シート撤去前	施工区画周辺または敷地境界	計点	—

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定3	測定1、2、4、6、7、8	測定5
計測機器	位相差顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25mm		47mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトントリアセチレン法またはシュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数200本または視野数50視野		
計数アスベスト	直径3 μm未満、長さ5 μm以上、長さ×直径比3：1以上		
定量限界	50f/l	0.5f/l	0.3f/l

報告書の作成 (記載する項目)

- ア 測定結果
- イ 測定時間
- ウ 測定位置 (測定高さとともに図面上に記載する)
- エ サンプリング条件 (メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量)
- オ マウンティング方法
- カ 顕微鏡視野面積、計数視野数
- キ 測定時 (各測定場所ごと) 天候、温度、湿度、外気の風速及び風向

○9-2アスベスト含有材の処理 (9.1.3~6)

- アスベスト含有吹き付け材の除去
 - 除去範囲 ◎図示
 - 除去工法 改修標準9.1.3によるほか、除去の部位・内容に応じた除去は専門事業者の仕様による。

処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

除去したアスベスト含有吹き付け材等の処分

- ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・アスベスト含有保温材の除去

除去範囲 ◎図示

除去工法 ・改修標準9.1.4による (原形のまま、手ばらしが可能な場合)

処理方法 ◎密封処理 (二重袋梱包) ◎湿潤化 ・セメント固化

除去したアスベスト含有保温材の処分

- ・埋立処分 (管理型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

○アスベスト含有成型板等の除去

除去範囲 ◎図示

除去工法 ・改修標準9.1.5による

除去したアスベスト含有成型板等の処分

- ・アスベスト含有石こうボード
 - ◎埋立処分 (管理型最終処分場)
- ・アスベスト含有石こうボードを除くアスベスト含有成型板等
 - ・埋立処分 (安定型最終処分場) ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・アスベスト含有建築用仕上塗材の除去

除去範囲 ◎図示

除去工法 ・改修標準9.1.6による

除去したアスベスト含有建築用仕上塗材の処分

- ・埋立処分 (管理型最終処分場)
- ・埋立処分 (安定型最終処分場)
- ・中間処理 (溶融施設または無害化処理施設)

・9-3外断熱改修工事 (9.3.2~4)

断熱材の種類	材料名	厚さ (mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム	(ノンフロン [G])	
・押出法ポリスチレンフォーム	(ノンフロン [G])	
・硬質ウレタンフォーム	(ノンフロン [G])	
・フェノールフォーム		
・ロックウール		
・グラスウール		
外装材の種類		
・	防火性能	

既存外壁の仕上材の撤去 ・有 ・無

地下面の清掃及び下地調整 ◎断熱材製造所の指定する仕様

通気層 ・有 (mm) ・無

試験施工、工法及び品質は、確認できる資料を提出し監督職員の承認を受ける。

特記なき事項は、製造所の仕様による。

・9-4屋上緑化改修工事 [G] (9.4.1)

- 植栽基盤及び材料
 - ・屋上緑化軽量システム
 - 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ◎図示

・9-5透水性アスファルト舗装改修工事 [G] (9.5.3.4,9) (表9.5.1.3,5)

- 凍上抑制層の材料
 - ・凍上抑制層 ◎再生クラッシャラン [G] ・クラッシャラン切込み砂利 ・砂
 - 厚さは図示による

盛り土に用いる材料

- ・A種 ◎B種 ・C種 ・D種

路床安定処理

◎添加材料による安定処理

- 種類
 - ・普通ポルトランドセメント ・フライアッシュセメントB種
 - ・生石灰 () ・消石灰 ()

添加量 ・ kg/m³ (目標CBR ・5以上 ・)

路盤材料

◎再生クラッシャラン (RC-40) [G]

・クラッシャラン鉄鋼スラグ (CS-40) [G]

・クラッシャラン (C-40)

透水性アスファルト舗装に用いる場合は透水性の高いもの

路床土の支持力比 (CBR) 試験 ◎行う (・乱した土 ◎乱さない土) ・行わない

路床締固め度の試験 ◎行う ・行わない

砂の粒度試験 ◎行う ・行わない

現場CBR試験 ◎行う ・行わない

セメント及びセメント系固化剤を使用した路床安定処理を行った場合の六価クロム溶出試験

◎行う 「セメント及びセメント系固化剤を使用した六価クロム溶出試験要領(案)」による。

アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ◎行わない

・9-6PCB含有シーリング材の処分

- 事前調査等
 - シーリング材のサンプルについて、専門分析機関で分析を行うこと。
 - ・現場においてサンプルを採取
 - 採取箇所 ◎外壁目地 ・図示
 - 採取箇所数 ◎部材が異なる毎に1箇所 ・図示
 - 分析によりPCBの含有が確認された場合は施工調査等を行い、適切に処理すること。
- 施工調査等
 - 調査範囲 ◎図示
 - 処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査等を行うこと。
 - シーリング使用部位の確認
 - シーリング長さの確認
 - 施工範囲と工事管理区分の確認
 - 仮設計画
 - 廃棄物等の撤出方法
- 除去処理工事
 - 除去方法
 - 「標準施工要領書 (日本シーリング工事共同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。

・9-7処理に注意を要する建蔽副産物

名称	仕様	数量	備考
・CCA処理木材			
・石綿含有石こうボード			
・ひ素・カドニウム含有石こうボード			
・上記以外の石こうボード			

石こうボードの撤去にあたっては、下記に事項について施工前調査を行う。

調査結果は、図面及び写真に記録し、監督職員に提出する。

- 石こうボードの使用部位の確認
 - 石こうボードの種類、製造会社名、厚さ等の確認、記録
 - 石こうボードの使用数量の確認
 - 施工範囲等の確認
- 処分を委託する際には、マニフェストの備考欄に石こうボードの有無、製造会社名等を記載する。

別表-1 他工事との取り合い

工事内容	●印を適用する				
	配管工事	設備設置工事	産業設備工事	給排水工事	空調設備工事
仮設電力の引込み (分電盤・キュービクルまで)	●	○	○	○	○
仮設電力の引込み (分電盤・キュービクル以降)	●	●	●	○	○
仮設電力の電気料	●	●	●	●	●
本受電後の電気基本料金	○	●	○	○	○
本受電後引渡しまでの電気使用料	○	●	●	●	●
仮設水道の引込み (メーターまで)	●	○	○	○	○
仮設水道の引込み (メーター以降)	●	●	●	●	●
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	●	●	●	●	○
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠 (電気、機械の配管等)	○	●	●	○	○
すべての開口、貫通、埋込部の補強	●	○	○	○	○
屋上に設置する機器の基礎 (電気及び機械機器)	●	○	○	○	○
屋内及び屋外に設置する機器の基礎 (電気及び機械機器)	○	●	●	○	○
天井・壁 (軽量鉄骨下地) につく機器の位置・墨出し	○	●	●	○	○
天井・壁 (軽量鉄骨下地) につく機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	●	●	○	○
天井・壁 (軽量鉄骨下地) につく機器の開口部補強を要する場合の切込み	●	○	○	○	○
天井・壁 (軽量鉄骨下地) につく機器の開口部補強	●	○	○	○	○
天井換気扇の取付	○	○	●	○	○
壁・窓用換気扇の取付	○	○	●	○	○
壁・窓用換気扇取付枠	●	○	○	○	○
点検口の取付 (床・壁・天井・PS等)	●	○	○	○	○
防煙ダンパー	○	○	●	○	○
防煙ダンパー用煙感知器の配管・配線	○	○	○	○	○
床仕上げ材の穴あけ (フローリングブロック等)	●	●	○	○	○
ルーフトレイン及び縦どい (樹及び清溝までの配管)	●	○	○	○	○
配線ビット及びび差	●	○	○	○	○
電極棒及びフロートスイッチ	○	○	○	○	○
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等2次側配線	○	●	○	○	○
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	○	○	○	○	○
機械設備の制御、操作盤の2次側配線	○	●	●	○	○
天井吊り形放熱器 (FCU等) と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	○	○	○	○	○
消火栓箱総合盤用穴あけ	○	○	●	○	○
設備機器のインターロックの配管・配線	○	○	○	○	○
電気設備のフェンス・金網	○	●	○	○	○
ガス漏れ警報器 (単設型)	○	○	●	○	○
ガス漏れ警報器 (集中監視型)	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器用コンセント	○	○	●	○	○
送り付け流し台	○	○	●	○	○
造り付け流し台排水トラップ	●	○	○	○	○
既製流し台及び排水トラップ (ガス台・洗面化粧台等を含む)	○	○	●	○	○

既製吊戸棚	●	○	○	○	○	○
鏡 (差異は建築工事)	○	○	○	●	○	○
昇降機の出入口開口の型枠	●	○	○	○	○	○
昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	●	○	○	○	○	○
昇降機のビット内保守用コンセント	○	○	●	○	○	○
外壁取付ガラリ、排煙口	●	○	○	○	○	○
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	○	○	○	○	○	○
昇降機インターホンの配管・配線	○	○	●	○	○	○

工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事	N. o.	06065	管理建築士	古澤 康夫
図名	改修工事特記仕様書(6)	別紙	R07.02.28	一級建築士登録番号	223925号
		相尺	S = N. S.	従事する建築士	
代表取締役	株式会社 フケタ設計	図面N. o.	A-06	一級建築士登録番号	号
		代表取締役	三梁 富男	一級建築士登録番号	89479号
本社	栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号	TEL	028(622)8928	従事する建築士	
承認		機	関	一級建築士登録番号	号

○ 電灯設備																
<p>・1非常用照明器具</p> <p>○電池内蔵形 ○電源別置形 ○蓄電池(10分)＋自家発電設備</p> <p>・2誘導灯</p> <p>○電池内蔵形 ○電源別置形 ○標識</p> <p>・3配線器具</p> <p>(1) 防災設備、コンセントについては消防法に適合すること。 (2) 住宅用スイッチ、コンセント類は ○大角形(金属プレート)―共用部 ○ワイドハンドル部 ―住戸内</p> <p>・4住宅用分電盤</p> <table border="1"> <tr> <td>主開閉器・分岐開閉器の定格遮断電流</td> <td colspan="2">[単位 A]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主開閉器</td> <td>定格電流</td> <td>定格遮断電流</td> </tr> <tr> <td>30以下</td> <td>2,500以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">分岐開閉器</td> <td>30を超え100以下</td> <td>5,000以上</td> </tr> <tr> <td>100を超え150以下</td> <td>10,000以上</td> </tr> <tr> <td></td> <td>―</td> <td>2,500以上</td> </tr> </table> <p>住宅用分電盤内に設置する過電流警報装置の品質及び性能(公仕仕1.1.4) (○「品質・性能基準」 ○)</p> <p>・5その他</p> <p>(1) ○特殊コンセントにはプラグを付属させる。 ○別途機械設備工事機器仕様コンセント(エッチング)については打合せすること。 (2) 次のコンセントのプレートには、電圧等の表示を行う。 ・単相200V ・三相200V ・一般電源用以外(※発電機回路、※UPS回路等) ※赤字等で表示する。</p>	主開閉器・分岐開閉器の定格遮断電流	[単位 A]		主開閉器	定格電流	定格遮断電流	30以下	2,500以上	分岐開閉器	30を超え100以下	5,000以上	100を超え150以下	10,000以上		―	2,500以上
主開閉器・分岐開閉器の定格遮断電流	[単位 A]															
主開閉器	定格電流	定格遮断電流														
	30以下	2,500以上														
分岐開閉器	30を超え100以下	5,000以上														
	100を超え150以下	10,000以上														
	―	2,500以上														
● 幹線設備																
<p>・1配線方式</p> <p>●地中線式 ●架空線式 ●露出線式</p> <p>・2地中線保護材料</p> <p>●波付硬質合成樹脂管(FEP) ●硬質ビニル管(VE)</p> <p>・3露出線保護材料</p> <p>●ケーブルラック(スーパーダイヤ) ●電線管(Z6)</p>																
● 動力設備																
<p>・1機器への接続</p> <p>(1) 本工事制御盤より別途電動機等への配線の接続は、原則として ○本工事 ○別途工事 とする。 (2) 電動機等への接続は、ビニル2種金属製かろう電線管(防水ブリカ)を使用する。 (3) 遮断器の定格電流は、メーカー推奨品を優先とする。</p> <p>・2電動機の接地</p> <p>○金属管接地 ○専用接地線</p>																
○ 雷保護設備																
<p>・1突針支持管</p> <p>○鋼製(溶融亜鉛メッキHDZ35以上) ○ステンレス製 (強度計算書を監督職員に提出すること)</p> <p>・2避雷導線</p> <p>○引下げ導線 ○建築構造体利用</p> <p>・3接地極</p> <p>○接地埋増設 ○建築構造体利用</p> <p>・4その他</p> <p>接続部分については、異種金属接触腐食(電食)を起こさないように施工すること。</p>																
● 受変電設備																
<p>・1高圧開閉器(屋外用)</p> <table border="1"> <tr> <td>高圧気中開閉器(S06)は(○方向性 OVT内蔵 OLA内蔵)</td> <td>○既存</td> </tr> <tr> <td>高圧気中開閉器(UAS)は(○方向性 OVT内蔵)</td> <td>○既存</td> </tr> </table> <p>・2主遮断装置</p> <table border="1"> <tr> <td>高圧交流遮断器(V08)は(○手動式 ○電磁式)</td> <td>○既存</td> </tr> </table> <p>・3設備内容</p> <p>進相コンデンサー(自動力率制御 ○有 ○無) ダイヤモンド監視装置(○有 ○無)</p> <p>・4配電盤</p> <p>○屋内形(○開閉形 ○閉鎖形) ●屋外形 ○キュービクル式非常電源専用受変電設備認定品</p> <p>・5その他</p> <p>(1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 保護継電器の保護協調曲線を作成し、監督職員に提出し、承認を受けること。なお、改修工事についても同様とする。</p>	高圧気中開閉器(S06)は(○方向性 OVT内蔵 OLA内蔵)	○既存	高圧気中開閉器(UAS)は(○方向性 OVT内蔵)	○既存	高圧交流遮断器(V08)は(○手動式 ○電磁式)	○既存										
高圧気中開閉器(S06)は(○方向性 OVT内蔵 OLA内蔵)	○既存															
高圧気中開閉器(UAS)は(○方向性 OVT内蔵)	○既存															
高圧交流遮断器(V08)は(○手動式 ○電磁式)	○既存															
○ 電力貯蔵設備																
<p>・1直流電源装置</p> <p>○非常用照明器具の電源と共用 ○受変電設備専用 蓄電池</p>																

<p>○鉛蓄電池 種別(○CS形 ○PS形 ○MSE形 ○長寿命MSE形 ○HSE形)</p> <p>○アルカリ蓄電池 種別(○AMP形 ○MHP形 ○NHP形 ○AHS形 ○NHS形 ○NHE形)</p> <p>・2交流無停電電源装置(U P S)</p> <p>○常時インバータ給電方式 ○常時インバータ給電方式(簡易型) ○ラインインタラクティブ方式 ○常時高用給電方式</p> <p>・3電力貯蔵装置(電力平準化等)</p> <p>○リチウム二次電池 ○鉛蓄電池 ○ニッケル水素電池</p> <p>・4その他</p> <p>(1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして計算すること。 (2) 簡易形については、監督職員の承認のうえ、製造者の標準として良い。</p>	○ 発電設備																			
<p>・1自家発電設備</p> <p>(1) 発電装置の用途 ○防災用自家発電装置 ○常用自家発電装置 ○常用防災兼用自家発電装置</p> <p>(2) 原動機</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>○ディーゼルエンジン ○ガスエンジン ○ガスタービン ○マイクロガスタービン</td> </tr> <tr> <td>始動方式</td> <td>○電気始動式 ○空気始動式</td> </tr> <tr> <td>起動蓄電池</td> <td>○標準 ○長寿命型</td> </tr> <tr> <td>冷却方式</td> <td>○水冷式(○循環方式 ○ラジエーター方式) ○空冷式</td> </tr> </table> <p>(3) 燃料</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>○A重油 ○軽油 ○灯油</td> </tr> <tr> <td>燃料小出タンク</td> <td>(○本工事 ○別途工事)</td> </tr> <tr> <td>主燃料タンク</td> <td>(○専用 ○他設備と共用)</td> </tr> </table> <p>(4) 形式</p> <p>○キュービクル式(○一般用 ○寒冷地仕様 ○低騒音仕様) ○オープン式 ○普通形自家発電装置 ○即時普通形自家発電装置 ○長時間形自家発電装置 ○即時長時間形自家発電装置</p> <p>(5) 発電種類</p> <p>○長期間自家発電装置 ○即時普通形自家発電装置 ○長時間自家発電装置 ○即時長時間自家発電装置</p> <p>(6) 運転時間</p> <p>○72時間 ○時間</p> <p>(7) 配電盤</p> <p>監督職員の承認のうえ、製造者の標準として良い。</p> <p>・2太陽光発電設備</p> <p>太陽電池モジュール</p> <p>○結晶シリコン系(○単結晶 ○多結晶) ○薄膜系(○アモルファス ○CIS ○CIGS) ○三相3線式200V ○単相3線式200V/100V ○JET認証とする。 ・JIS C 895Siに基づき、荷重計算を実施し監督職員の承認を得ること。 ・D/GRの設置 ○有 ○無 ・太陽電池アレイ用支持物の荷重計算に係る用途係数 ○極めて重要な太陽光発電システム ○通常設置する太陽光発電システム</p>	種類	○ディーゼルエンジン ○ガスエンジン ○ガスタービン ○マイクロガスタービン	始動方式	○電気始動式 ○空気始動式	起動蓄電池	○標準 ○長寿命型	冷却方式	○水冷式(○循環方式 ○ラジエーター方式) ○空冷式	種類	○A重油 ○軽油 ○灯油	燃料小出タンク	(○本工事 ○別途工事)	主燃料タンク	(○専用 ○他設備と共用)	○ 構内情報通信設備					
種類	○ディーゼルエンジン ○ガスエンジン ○ガスタービン ○マイクロガスタービン																			
始動方式	○電気始動式 ○空気始動式																			
起動蓄電池	○標準 ○長寿命型																			
冷却方式	○水冷式(○循環方式 ○ラジエーター方式) ○空冷式																			
種類	○A重油 ○軽油 ○灯油																			
燃料小出タンク	(○本工事 ○別途工事)																			
主燃料タンク	(○専用 ○他設備と共用)																			
<p>・1構内情報通信網装置</p> <p>構内情報通信網装置 ○有 ○無</p> <p>・2構内情報通信網装置の構成性能</p> <p>図示による。 その他追加機能 ○ ○</p>	○ 構内交換設備																			
<p>・1交換装置</p> <p>○IP-PBX ○VoIPサーバ ○既存</p> <p>・2電話機</p> <table border="1"> <tr> <td>○一般形</td> <td>○多機能形</td> <td>○IP形</td> </tr> <tr> <td>○ファクシミリ</td> <td>○デジタルコーデレス形</td> <td>○IPコーデレス形</td> </tr> <tr> <td>○停電用電話機</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・3その他</p> <p>追加サービス機能 ○</p>	○一般形	○多機能形	○IP形	○ファクシミリ	○デジタルコーデレス形	○IPコーデレス形	○停電用電話機			○ 情報表示設備										
○一般形	○多機能形	○IP形																		
○ファクシミリ	○デジタルコーデレス形	○IPコーデレス形																		
○停電用電話機																				
<p>・1マルチサイン</p> <table border="1"> <tr> <td>表示方式</td> <td>OLEド式 ○液晶(LCD)式 ○有機EL式</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>○壁掛型 ○自立型</td> </tr> </table> <p>・2時刻表示装置</p> <p>○報時計 ○プログラムタイマ ○子時計 ○電子チャイム 時刻同期装置 ○標準電波方式 ○公衆回線方式 ○ラジオ放送方式 ○GNSS方式 ○地上デジタル放送方式 ONTPサーバ方式</p> <p>・3出退表示装置</p> <table border="1"> <tr> <td>制御方式</td> <td>○多線直接式</td> <td>○パルス伝送式</td> </tr> <tr> <td>表示方式</td> <td>OLEド式</td> <td>○液晶(LCD)式</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>○有機EL式</td> </tr> </table> <p>・4水道隔測検針設備</p> <table border="1"> <tr> <td>検針盤</td> <td>○手動式</td> <td>○自動式</td> </tr> <tr> <td>配線</td> <td>○3線式</td> <td>○5線式</td> </tr> </table>	表示方式	OLEド式 ○液晶(LCD)式 ○有機EL式	種類	○壁掛型 ○自立型	制御方式	○多線直接式	○パルス伝送式	表示方式	OLEド式	○液晶(LCD)式			○有機EL式	検針盤	○手動式	○自動式	配線	○3線式	○5線式	
表示方式	OLEド式 ○液晶(LCD)式 ○有機EL式																			
種類	○壁掛型 ○自立型																			
制御方式	○多線直接式	○パルス伝送式																		
表示方式	OLEド式	○液晶(LCD)式																		
		○有機EL式																		
検針盤	○手動式	○自動式																		
配線	○3線式	○5線式																		

○ 映像・音響設備																							
<p>・1プロジェクタ</p> <table border="1"> <tr> <td>○本工事</td> <td>○別途工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>○液晶形</td> <td>○DLP形</td> </tr> <tr> <td>投写方式</td> <td>○前画面</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スクリーン形式</td> <td>○反射マット形</td> <td>○反射ビーズ形 ○反射細密ビーズ形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○反射ストライプ形</td> <td></td> </tr> <tr> <td>設置方式</td> <td>○上巻タイプ</td> <td>○下巻タイプ ○横込タイプ</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td colspan="2">機器収納ラックは監督職員の承認のうえ、製造者標準として良い。</td> </tr> </table> <p>・2テレビ</p> <table border="1"> <tr> <td>○本工事 ○別途工事</td> </tr> </table>	○本工事	○別途工事		種類	○液晶形	○DLP形	投写方式	○前画面		スクリーン形式	○反射マット形	○反射ビーズ形 ○反射細密ビーズ形		○反射ストライプ形		設置方式	○上巻タイプ	○下巻タイプ ○横込タイプ	その他	機器収納ラックは監督職員の承認のうえ、製造者標準として良い。		○本工事 ○別途工事	○ 拡声設備
○本工事	○別途工事																						
種類	○液晶形	○DLP形																					
投写方式	○前画面																						
スクリーン形式	○反射マット形	○反射ビーズ形 ○反射細密ビーズ形																					
	○反射ストライプ形																						
設置方式	○上巻タイプ	○下巻タイプ ○横込タイプ																					
その他	機器収納ラックは監督職員の承認のうえ、製造者標準として良い。																						
○本工事 ○別途工事																							
<p>・1拡声装置</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>○一般放送用 ○非常放送用</td> </tr> <tr> <td>形式</td> <td>○卓上形 ○キャビネットラック形</td> </tr> <tr> <td>アンテナ</td> <td>○AM(○ステンレス鋼製 ○) ○FM(○耐食アルミニウム製 ○ステンレス鋼製)</td> </tr> </table>	種類	○一般放送用 ○非常放送用	形式	○卓上形 ○キャビネットラック形	アンテナ	○AM(○ステンレス鋼製 ○) ○FM(○耐食アルミニウム製 ○ステンレス鋼製)	○ 誘導支援設備																
種類	○一般放送用 ○非常放送用																						
形式	○卓上形 ○キャビネットラック形																						
アンテナ	○AM(○ステンレス鋼製 ○) ○FM(○耐食アルミニウム製 ○ステンレス鋼製)																						
<p>・1誘導支援装置</p> <p>○音声誘導装置(○無線式 ○磁気式 ○画像認識式) ○インターホン装置(○テレビインターホン ○外部受付用インターホン) ○トイレ等呼出装置(○壁掛式 ○ラック収納式 ○卓上式) ○住宅情報盤装置 消防法に適合した旨の表示をすること 公共住宅の住宅情報盤装置の品質及び性能(○「品質・性能基準」 ○) ○インターホンオートドアロック装置 ○宅配ボックス装置 公共住宅の宅配ボックスの品質及び性能(○「品質・性能基準」 ○)</p>	○ テレビ共同受信設備																						
<p>・1テレビ共同受信装置</p> <table border="1"> <tr> <td>種類</td> <td>○UHF ○BS ○CS ○CATV ○FM ○AM</td> </tr> <tr> <td>画質</td> <td>○2K ○4K ○8K ○16K</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>増幅器を収容する場合は、AC125V2P15A接地端子付きのコンセントを設ける。 テレビ端子及び直列ユニットはCS・BS・UH・FM共用形、プラグ付きとする。 地上デジタル放送を受信できるものとする。 公共住宅のテレビ機器・FMアンテナの品質及び性能(○「品質・性能基準」 ○)</td> </tr> </table>	種類	○UHF ○BS ○CS ○CATV ○FM ○AM	画質	○2K ○4K ○8K ○16K	その他	増幅器を収容する場合は、AC125V2P15A接地端子付きのコンセントを設ける。 テレビ端子及び直列ユニットはCS・BS・UH・FM共用形、プラグ付きとする。 地上デジタル放送を受信できるものとする。 公共住宅のテレビ機器・FMアンテナの品質及び性能(○「品質・性能基準」 ○)	○ 監視カメラ設備																
種類	○UHF ○BS ○CS ○CATV ○FM ○AM																						
画質	○2K ○4K ○8K ○16K																						
その他	増幅器を収容する場合は、AC125V2P15A接地端子付きのコンセントを設ける。 テレビ端子及び直列ユニットはCS・BS・UH・FM共用形、プラグ付きとする。 地上デジタル放送を受信できるものとする。 公共住宅のテレビ機器・FMアンテナの品質及び性能(○「品質・性能基準」 ○)																						
<p>・1監視カメラ装置</p> <table border="1"> <tr> <td>伝送方式</td> <td>○ネットワーク伝送方式 ○同軸伝送方式</td> </tr> <tr> <td>録画装置</td> <td>○デジタルレコーダ ○録画サーバ</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>・高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。</td> </tr> </table>	伝送方式	○ネットワーク伝送方式 ○同軸伝送方式	録画装置	○デジタルレコーダ ○録画サーバ	その他	・高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。	○ 駐車場管制設備																
伝送方式	○ネットワーク伝送方式 ○同軸伝送方式																						
録画装置	○デジタルレコーダ ○録画サーバ																						
その他	・高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。																						
<p>・1駐車場管制装置</p> <table border="1"> <tr> <td>検知方式</td> <td>○光線式</td> <td>○ルーポイル式</td> <td>○超音波センサ式</td> </tr> <tr> <td>低号灯・警報灯</td> <td>○天井つり下げ形</td> <td>○自立形</td> <td>○壁掛形</td> </tr> </table>	検知方式	○光線式	○ルーポイル式	○超音波センサ式	低号灯・警報灯	○天井つり下げ形	○自立形	○壁掛形	○ 防犯入室管理設備														
検知方式	○光線式	○ルーポイル式	○超音波センサ式																				
低号灯・警報灯	○天井つり下げ形	○自立形	○壁掛形																				
<p>・1防犯装置</p> <table border="1"> <tr> <td>○本工事</td> <td>○本工事(配管のみ) ○別途工事</td> </tr> <tr> <td>制御装置</td> <td>基本機能以外の追加機能 ○</td> </tr> <tr> <td>方式</td> <td>○磁気カード ○暗証番号 ○ICカード(接触式) ○ICカード(非接触式) ○バイオメトリックス</td> </tr> </table> <p>・2電気錠</p> <table border="1"> <tr> <td>○本工事</td> <td>○別途工事</td> </tr> </table>	○本工事	○本工事(配管のみ) ○別途工事	制御装置	基本機能以外の追加機能 ○	方式	○磁気カード ○暗証番号 ○ICカード(接触式) ○ICカード(非接触式) ○バイオメトリックス	○本工事	○別途工事	○ 火災報知設備														
○本工事	○本工事(配管のみ) ○別途工事																						
制御装置	基本機能以外の追加機能 ○																						
方式	○磁気カード ○暗証番号 ○ICカード(接触式) ○ICカード(非接触式) ○バイオメトリックス																						
○本工事	○別途工事																						
<p>・1自動火災報知装置</p> <table border="1"> <tr> <td>受信機</td> <td>○P型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> <td>○R型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○P型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> <td>○R型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○P型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> <td>○R型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>○R型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> <td>○R型 線 回線 (○新設 ○既設)</td> </tr> </table> <p>○副受信機</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>○線 回線 (○新設 ○既設)</td> </tr> </table> <p>・2自動閉鎖設備</p> <table border="1"> <tr> <td>○運動制御器(盤)</td> <td>○線 (○単独 ○受信機と一体)</td> </tr> </table> <p>・3非常警報装置(非常ベル)</p> <table border="1"> <tr> <td>○機器一体形</td> <td>○各機器単独に設置</td> </tr> </table> <p>・4ガス漏れ火災警報装置</p> <table border="1"> <tr> <td>○個別式</td> <td>○集中監視式 回線</td> </tr> <tr> <td>ガスの種類</td> <td>○都市ガス(種類) ○液化石油ガス ○市域ガス</td> </tr> </table> <p>・5住宅用自動火災報知装置</p> <p>○共同住宅用非常警報設備(共用部分) 非常警報装置の蓄電池は、○警報操作盤に組み込む ○機器一体型 ○住戸用自動火災報知設備(住戸等と非開放の共用部分) ○共同住宅用自動火災報知設備</p>	受信機	○P型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)		○P型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)		○P型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)		○R型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)		○線 回線 (○新設 ○既設)	○運動制御器(盤)	○線 (○単独 ○受信機と一体)	○機器一体形	○各機器単独に設置	○個別式	○集中監視式 回線	ガスの種類	○都市ガス(種類) ○液化石油ガス ○市域ガス	
受信機	○P型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)																					
	○P型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)																					
	○P型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)																					
	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)	○R型 線 回線 (○新設 ○既設)																					
	○線 回線 (○新設 ○既設)																						
○運動制御器(盤)	○線 (○単独 ○受信機と一体)																						
○機器一体形	○各機器単独に設置																						
○個別式	○集中監視式 回線																						
ガスの種類	○都市ガス(種類) ○液化石油ガス ○市域ガス																						

○ 中央監視制御設備										
<p>・1中央監視制御装置</p> <p>○警報盤 ○簡易型監視制御装置 ○監視制御装置</p> <p>・2中央監視制御装置の構成・性能</p> <p>図示による。</p>	○ 構内配電線路									
<p>・1配線方式</p> <p>○地中線式 ○架空線式</p> <p>・2地中線路の余長</p> <p>マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。</p> <p>・3装柱器材</p> <p>・4付属品</p> <p>○マンホール用梯子 ○ハンドホール用手カギ</p> <p>・5屋外灯設備</p> <table border="1"> <tr> <td>(1) 電源供給方式</td> <td>○共用盤から供給</td> <td>○単独引込(定額料金)</td> </tr> <tr> <td>(2) 点滅方式</td> <td>○自動点滅器</td> <td>○タイマ (廊下共用灯は、○自動点滅器 ○タイマ)</td> </tr> <tr> <td>(3) 鋼管柱</td> <td>○塩ビコーティング</td> <td>○耐候性鋼製</td> </tr> </table> <p>・6その他</p> <p>(1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート(プラスチック製等に別字)を取付け、プルボックス及びカバープレートについても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2) 地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。 (3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。</p>	(1) 電源供給方式	○共用盤から供給	○単独引込(定額料金)	(2) 点滅方式	○自動点滅器	○タイマ (廊下共用灯は、○自動点滅器 ○タイマ)	(3) 鋼管柱	○塩ビコーティング	○耐候性鋼製	○ 構内通信線路
(1) 電源供給方式	○共用盤から供給	○単独引込(定額料金)								
(2) 点滅方式	○自動点滅器	○タイマ (廊下共用灯は、○自動点滅器 ○タイマ)								
(3) 鋼管柱	○塩ビコーティング	○耐候性鋼製								
<p>・1配線方式</p> <p>○地中線式 ○架空線式</p> <p>・2地中線路の余長</p> <p>マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。</p> <p>・3地中線保護材料</p> <p>○ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管(GLT) ○波付硬質合成樹脂管(FEP) ○硬質ビニル管(VE)</p> <p>・4付属品</p> <p>○マンホール用梯子 ○ハンドホール用手カギ</p> <p>・5その他</p> <p>(1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート(プラスチック製等に別字)を取付け、プルボックス及びカバープレートについても適当な方法により内容表示を行うものとする。 (2) 地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。 (3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。</p>										

工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事	N.○	06065	管理建築士 古澤 康夫
図名	電気設備工事特記仕様書(2)	設計	R07.02.28	一級建築士登録番号 223925号
		相尺	S = N. S.	従事する建築士
株式会社 フケタ設計		図面N.○	E-02	一級建築士登録番号
代表取締役 本 社	三楽 富男 栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号	TEL	028(622)8928	従事する建築士 一級建築士登録番号

○ その他工事共通事項

- 1施工調査
 - 配線・機器工事は、事前に絶縁抵抗、接地抵抗を確認し、監督職員に報告する。
- 2電線本数・管路
 - 分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線において、配線経路、電線サイズ、電線本数、管路サイズなどは機能を確認し、監督職員の承認を受けて変更しても差し支えない。
- 3呼び線（導入線）
 - 長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

- 4コンセント
 - 図面に特記なき場合は、コンセント2P15A（接地極付）は、プラグ不要とする。

- 5一般照明の照度測定
 - 有 ○無
- 6非常用の照明装置の照度測定
 - 有 ○無

- 7キャビネット
 - キュービクル式配電盤の板厚は下記による。

構成部	鋼板の厚さ(mm)	
	屋内	屋外
側面部	1.6以上	2.3以上
底板		1.6以上
屋根板		2.3以上
仕切板		1.6以上
ドア及び前面板		2.3以上

- 8制御盤、分電盤の板厚は下記による。

正面の面積	鋼板等の厚さ(mm)	
	鋼板	ステンレス
0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上
0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上

- 9端子盤・機器収納ラック等の板厚は下記による。

正面の面積	鋼板等の厚さ(mm)	
	鋼板	ステンレス
0.1㎡以下	1.0以上	0.8以上
0.1㎡を超え0.2㎡以下	1.2以上	1.0以上
0.2㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上

- 8接地極
 - 接地抵抗値は下記による。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
○ 共同接地	EA, D	Ω以下	○EB (14φ) × 3連2組 ○図面特記による
○ 共同接地	EA, C, D	Ω以下	○EB (14φ) × 3連2組 ○図面特記による
○ A種接地	EA	10Ω以下	○EB (14φ) × 3連2組 ○銅板式 (900×900×1.5t)
○ B種接地	EB	Ω以下	○EB (14φ) × 3連1組 ○銅板式 (600×600×1.5t)
○ D種接地	ED	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
○ C種接地	EC	Ω以下	EB (14φ) × 3連2組
○ 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	○EB (14φ) × 3連2組 ○銅板式 (900×900×1.5t)
○ 避雷設備	EL	Ω以下	○EB (14φ) × 3連2組 ○銅板式 (900×900×1.5t)
○ 交換機用	E	Ω以下	EB (14φ) × 3連 組
○ 通信用	Eat	10Ω以下	EB (14φ) × 3連2組
○ 通信用	Ect	100Ω以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)
○ 測定用	E0	—	EB (10φ) × 1 (L=1,000mm)

B種接地については、電力会社と協議する。
 ※印は、接地極寸法を示す。
 (1) 接地極の埋設位置で、監督員の指示する箇所に接地極埋設標を設ける。
 (2) 外灯の接地は ○各ホールごと ○専用接地線

- 9SPD
 - SPDを ○低圧線路 ○弱電線路 に設ける。
 - 電灯分電盤 ○動力制御盤 ○弱電盤 ○図面特記参照

- 10取付高さ
 - 壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高[mm]
ブラケット（一般）	床面～中心	2,100
”（攝像）	”	2,500
”（鏡上）	鏡上端～中心	150
避難口誘導灯	床面～下端	1,500以上
廊下通路誘導灯	床面～上端	1,000以下
スイッチ（一般）	床面～中心	1,300
”（多機能トイレ）	”	1,100
コンセント、電器用ケブライト、直列スイッチ（一般）	”	300
”（和室）	”	150
”（台所）	台面～中心	150
コンセント（車庫）	床面～中心	800
引込開閉器箱（高圧）	床面～上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床面～中心	1,500(上端1,900以下)
開閉器箱	”	1,500
電磁開閉器用押しボタン	”	1,300
接地用端子箱	地上、床面～中心	500
避雷接地用端子箱	床面～下端	800
接地埋設標	地上～中心	600
給油ボックス	床面～給油口	1,000
中間端子盤（EPS電気室）	床面～中心	1,500
観時計	”	1,500(上端1,900以下)
子時計、スピーカ	”	(天井高) × 0.9

アッテネータ	”	1,300
出退表示盤	”	(天井高) × 0.9
発信器（出退表示用）	”	1,300
インターホン	”	1,500
身体障害者用インターホン子機	”	1,100
呼出ボタン（多機能トイレ）	”	900
復帰ボタン（ ” ）	”	1,800
廊下表示灯（ ” ）	”	2,000
テレビ機器収容箱	”	1,800
火報受信機（複合盤）	床面～操作部	800～1,500
副受電機	床面～中心	1,500
自動報機器収容箱	”	800～1,500
発信機	”	800～1,500
警報ベル	”	(天井高) × 0.9
表示灯	”	(天井高) × 0.8
遠動制御器（自動閉鎖）	”	1,500
ガス漏れ検知器（LPガス）	”	300
”（都市ガス）	天井面～中心	(天井面) -200

【備考】(天井高) × 0.9及び(天井高) × 0.8は天井高が2500～3000mmの場合に適用する。

- 11天井仕上げ表示
 - 図面において、室名に（ ）を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。
- 12他工事との取り扱い
 - 別表-1による他工事との取り扱いについては、機器の位置、取合い等の検討できる施工図を施工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承認を受ける。

別表-1 他工事との取り扱い

工事内容	●印を適用する				
	配線工事	神機工事	遊具工事	給排水工事	通風換気工事
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクルまで）	●	●	●	○	○
仮設電力の引込み（分電盤・キュービクル以降）	●	●	●	○	○
仮設電力の電気料	●	●	●	○	○
本受電後の電気基本料金	○	○	○	○	○
本受電後引渡しまでの電気使用料	○	○	○	○	○
仮設水道の引込み（メーターまで）	○	○	○	○	○
仮設水道の引込み（メーター以降）	○	○	○	○	○
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	○	○	○	○	○
床・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠（電気、機械の配管等）	○	○	○	○	○
すべての開口、貫通、埋込部の補強	○	●	●	○	○
屋上に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）	○	○	○	○	○
屋内及び屋外に設置する機器の基礎（電気及び機械機器）	○	●	●	○	○
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の位置・露出し	○	●	●	○	○
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	●	●	○	○
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	○	○	○	○	○
天井・壁（軽量鉄骨下地）に付く機器の開口部補強	○	●	●	○	○
天井換気扇の取付	○	○	○	○	○
壁・窓用換気扇の取付	○	○	○	○	○
壁・窓用換気扇取付枠	○	○	○	○	○
点検口の取付（床・壁・天井・PS等）	○	●	●	○	○
防煙ダンパー	○	○	○	○	○
防煙ダンパー用煙感知器の配管・配線	○	○	○	○	○
床仕上げ材の穴あけ（フローリングブロック等）	○	○	○	○	○
ルーフレイン及び縦どい（柵及び側溝までの配管）	○	○	○	○	○
配線ビッド及び蓋	○	●	●	○	○
電極棒及びフロースイッチ	○	○	○	○	○
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等2次側配線	○	○	○	○	○
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	○	●	○	○	○
機械設備の制御、操作盤の2次側配線	○	○	●	○	○
天井吊り形放熱器（FCU等）と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	○	○	○	○	○
消火栓箱総合管用穴あけ	○	○	○	○	○
設備機器のインターロックの配管・配線	○	○	○	○	○
電気設備のフェンス・金網	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器（単設型）	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器（集中監視型）	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器用コンセント	○	○	○	○	○
造り付け流し台排水トラップ	○	○	○	○	○
既製流し台及び排水トラップ（ガス台・洗面化粧台等を含む）	○	○	○	○	○
既製吊戸棚	○	○	○	○	○
鏡（姿見は建築工事）	○	○	○	○	○
昇降機の出入口開口の型枠	○	○	○	○	○
昇降機の乗場ボタン、インジケータ配管用スリーブ及び型枠	○	○	○	○	○
昇降機のビット内保守用コンセント	○	○	○	○	○
外壁取付ガラー、排煙口	○	○	○	○	○
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	○	●	●	○	○
昇降機インターホンの配管・配線	○	○	○	○	○

工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事	N.o.	06065	管理建築士	古澤 康夫
図名	電気設備工事特記仕様書(3)	設計	R07.02.28	一級建築士登録番号 223925号	
		相尺	S = N.S.	従事する建築士	
		図面N.o.	E-03	一級建築士登録番号 号	
代表取締役	三楽 富男	一級建築士登録番号	89479号	従事する建築士	
本社	栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号	TEL	028(622)8928	一級建築士登録番号 号	

○ 共通工事

○1電動機

換気扇、圧力扇、厨廃機器その他これらに類するものの電動機の保護規格は、製造者規格による標準品としてよい。

・2総合調整

- 本工事 ○別途
- 初期運転状況の記録
- 風量調整 ○水量調整 ○室内外空気の温湿度の測定
- 室内気流及びじんあいの測定 ○騒音の測定
- 飲料水の水质の測定(水道法施工規則(昭和32年厚生省令第45号)第10条による水质検査)
- 雑用水の水质測定(建築物における衛生的環境の確保に関する法律施行令第2条の「建築物環境衛生管理基準」による。)
- 試験程、調整等を実施する際には、最大需要電力(電力デマンド)を抑制するよう計画し、監督員と協議すること。

・3スリーブ

- 外壁の地中部分で水密を要する部分のスリーブ
- つば付き鋼管スリーブ
- 鋼管またはビニル管に非加硫ブチルゴム系止水材を巻き付けて止水するスリーブ

・4配管施工の一般事項

- 建築物導入部配管の配管要領(排水及び通気配管を除く)
- 標準図(建築物導入部の変位吸収配管要領)の(○(a) ○(b) ●(c))による。
- 埋設配管がビニル管、ポリエチレン管の場合の配管要領は監督員との協議による。
- 都市ガス設備の配管要領はガス事業者の承認するものとする。
- 建築物エキスパンションジョイント部の配管要領
- 標準図(建築物エキスパンションジョイント部配管要領)の(●(a) ○(b))による。
- さや管ヘッダー配管システム
- 13mm以下の樹脂管には消音テープ巻きを行う。

・5管の接合

- ステンレス鋼管
- 呼び径65Su以下のステンレス鋼管は拡張式メカニカル接合とする。
- 溶接接合における溶接部の非破壊検査
- 適用範囲
- すべての溶接接合配管(○使用圧力が0.1MPa未満の配管を除く)
- 突合せ溶接部の検査の種類
- 放射線透過検査(RT) ●浸透探傷検査または磁粉探傷検査(PTまたはMT)

・6勾配、吊り及び支持

- 電気垂鉛めっきなどによる防錆処理を施した全ねじボルトを切断して吊り用ボルトとして使用する場合、切断面の面取り及び空気に触れる側の切断端部の防錆処理を行う。
- ステンレス鋼製の吊り金物・Uボルトなどを使用する場合、鋼製の配管・支持材などへの腐食の影響を考慮する。

・7試験

- (1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。
- (2) 新設配管は、既設配管との接続前に試験を行う。

・8保温工事

- 構仕第2編第3章第1節によるほか下記による。
- 防凍保温
- 屋外露出配管(給水管、消火管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレン管、弁類を含む)は防凍保温を行う。保温材の厚さは呼び径25mm以下のものは50mm、呼び径32mm以上のものは40mm以上とする。

- 一般保温
- 空気調和設備工事の保温については下記による。

区分	施工箇所	保温の種類	備考
噴 (暖房用及び弁類を含む。)	温水管	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・I
	(膨脹管を含む。)	機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C2・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・I
蒸気管 (低圧(0.1MPa未満)の蒸気)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・II	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・II
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C2・(ロ)・II
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・II
冷水・冷温水管 (膨脹管を含む。)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・III	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・III
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・III
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・III
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・III	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・III
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・III
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・III
ブライン管 (ブライン温度-10℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・III	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・III
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・III
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・III
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・IV	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・IV
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・IV
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・IV
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・V	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・V
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・V
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・V
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・V	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・V
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・V
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・V
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・VI	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・VI
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・VI
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・VI
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・VII	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・VII
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・VII
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・VII
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・VIII	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・VIII
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・VIII
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・VIII
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・IX	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・IX
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・IX
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・IX
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・X	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・X
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・X
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・X
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・XI	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・XI
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・XI
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・XI
冷水管 (冷水温度2~4℃)	屋内露出(一般居室、廊下)	A2・(ロ)・XII	
		機械室、書庫、倉庫	B・(ロ)・XII
		天井内、パイプシャフト内及び空隙中	C1・(ロ)・XII
		暗渠内(ビット内を含む)	D・(ロ)・XII

給排水衛生設備工事	冷水タンク		F1・(ロ)・IX
	冷温水タンク		G1・(ロ)・IX
	温水タンク		G1・(ロ)・VII
	温水タンク		F1・(ロ)・IX
給排水衛生設備工事	膨脹タンク		G1・(ロ)・VII
	冷水ヘッダー		F1・(ロ)・IX
	冷温水ヘッダー		G1・(ロ)・IX
	温水ヘッダー		G1・(ロ)・IX
給排水衛生設備工事	高気ヘッダー		G1・(ロ)・IX
	長方形ダクト	屋内露出(一般居室、廊下)	J1・(ロ)・XI
		機械室、書庫、倉庫	I・(ロ)・XI
		屋内隠ぺい・ダクトシャフト内	I・(ロ)・XI
給排水衛生設備工事		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	K3・(ロ)・XI
		屋内露出(一般居室、廊下)	O1・(ロ)・XI
		機械室、書庫、倉庫	N・(ロ)・XI
		屋内隠ぺい・ダクトシャフト内	N・(ロ)・XI
給排水衛生設備工事		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	P3・(ロ)・XI
	消音	サブライチャムバー	M・(ロ)・IX
	内貼	消音チャンパー	L・(ロ)・VII
		消音エルボ	
給排水衛生設備工事	排煙	長方形	I・(イ)・XI
	ダクト	円形	N・(イ)・XI
		屋内隠ぺい	
		長方形	H1・(イ)・X
給排水衛生設備工事	煙道	円形	H1・(イ)・X

給排水衛生設備工事の保温については下記による。

区分	施工箇所	保温の種類	備考
噴 (暖房用及び弁類を含む。)	給水管(○消火管)	屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・VII
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・VII
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・VII
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ハ)・VII
排水及び通気管		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・VII
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・VII
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・VII
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・VII
給湯管 (膨脹管を含む。)		浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ハ)・VII
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		天井内、パイプシャフト内及び空隙壁中	c・(ロ)・I
		暗渠内(ビット内を含む)	d・(ロ)・I
		屋外露出(バルコニー、開放廊下を含む)及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない。)	e3・(ロ)・I
		屋内露出(一般居室、廊下)	a2・(ロ)・I
給湯管 (膨脹管を含む。)		機械室、書庫、倉庫	b・(ロ)・I
		天井内、パイプ	

○ 給水設備

- 1配管材料
 - 給水引込管(直結部分) 水道事業者の指定による ○
 - 地中埋設部
 - 水道用ポリエチレン二層管 ○水道配水用ポリエチレン管
 - 塩ビライニング鋼管(SGP-VD) ○
 - 一般部
 - 塩ビライニング鋼管(SGP-VA) ○塩ビライニング鋼管(SGP-VB)
 -
- 2水栓
 - 台所流し用の水栓は泡沫式とする。
 - 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。
 - 凍結防止機能付水栓(サーモエレメント式)を設置する。(取付け位置は図示)
- 3量水器
 - 親メーター(○貸与品 ○)
 - 子メーター(○買い取り ○)
- 4量水器機
 - 水道事業者指定品(○貸与品 ○買い取り) ○標準図MC形
- 5弁類
 - JISまたはJV ○水道直結部分(○10K ○)
 - その他の部分(○5K ○)
 - ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする
- 6管の埋設深さ
 - 管の上端より原則として、一般敷地は(30cm)構内道路は(60cm)以上とする。
 - ただし、凍結深度以上とする。
 - 埋戻しは管の上端より100mmまでは山砂を使用する。
- 7水栓柱
 - 合成樹脂製 ○アルミニウム合金製
- 8引込納付金等
 - 要(○本工事 ○別途工事) ○不要

○ 排水設備

- 1配管材料

屋内	汚水管	○排水用塩ビライニング鋼管 ○ビニル管(VP)	○耐火二層管 ○
	雑排水管	○排水用塩ビライニング鋼管 ○ビニル管(VP)	○耐火二層管 ○
	通気管	○鋼管(白管) ○ビニル管(VP)	○耐火二層管 ○
屋外	第一排まで	○ビニル管(VP) ○	○ビニル管(VU)
	排間	○ビニル管(VP) ○	○ビニル管(VU)

 - ビニル管(VP)はカラー管とする。
 - ただし、露出配管以外の部分は、JISに規定の標準色とすることができる。
- 2洗面器等の排水管
 - 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。
 - 大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管はビニル管(VP)とする。
 - 台所流し等の床上露出部分の配管はビニル管(VP)でもよい。
- 3満水試験継手
 - 取付け位置は図示による。
- 4放流納付金等
 - 要(○本工事 ○別途工事) ○不要

○ 給湯設備

- 1配管材料
 - 給湯用塩ビライニング鋼管 ○ステンレス管 ○
- 2弁類
 - JISまたはJV ○5K ○10K(図示部分)
 - ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする

○ 消火設備

- 1配管材料

屋内消火栓	一般	○鋼管(白管)	○
	地中	○外面被覆鋼管(SGP-VS)	○
連絡送水管	一般	○	
	地中	○	

○ 厨房設備

- 1厨房用熱源
 - 図示による。
- 2機器の機能等
 - 図示による。
- 3機器の寸法
 - 概略寸法とする。

○ ガス設備

- 1配管材料
 - 都市ガスガス 事業者の供給規定による。
 - 液化石油ガス
 - 一般 ○鋼管(白管) ○
 - 地中 ○合成樹脂被覆鋼管 ○
- 2充てん容器その他
 - LPGガス容器(貸与品) (●50kg ○20kg ○10kg)×()本
 - バルク貯槽 貯蔵量()kg

- 3集合装置
 - 標準図(液化石油ガス容器廻り配管要領)による()本立て。
- 4転倒防止等
 - 標準図(液化石油ガス容器転倒防止施工要領)の ○(a) ○(b) による。
- 5メーター
 - 親メーター(○貸与品 ○)
 - 子メーター(○買い取り ○)
- 6ガス漏れ警報器
 - 本工事(設置場所は図示による。) ○別途工事
- 7漏洩検知装置
 - 要 ○不要
- 8電気防食
 - 要 ○不要
- 9引込負担金等
 - 要(○本工事 ○別途工事) ○不要

○ 排水処理設備

- 1設備方式
 - 排水再利用 ○厨廃除害 ○浄化槽
- 2仕様等
 - 図示による。

○ 雨水利用設備

- 1設備方式
 - 図示による。
- 2配管材料
 -

○ 改修・撤去工事

- 1撤去内容
 - 図示による。
- 2化学物質の濃度測定
 - 施工完了時に室内空気中の濃度測定を行い、測定結果をまとめて報告する。
 - 測定する化学物質の種類 ●ホルムアルデヒド ●トルエン ●キシレン
 - エチルベンゼン ●スチレン ○パラジクロロベンゼン
 - 測定方法 パッシブ型採取機器により行う。
 - 測定対象室 図示による。
 - 測定箇所数 図示による。
 - 着工前の測定 ○行う ○行わない

別表ー 1 他工事との取り合い

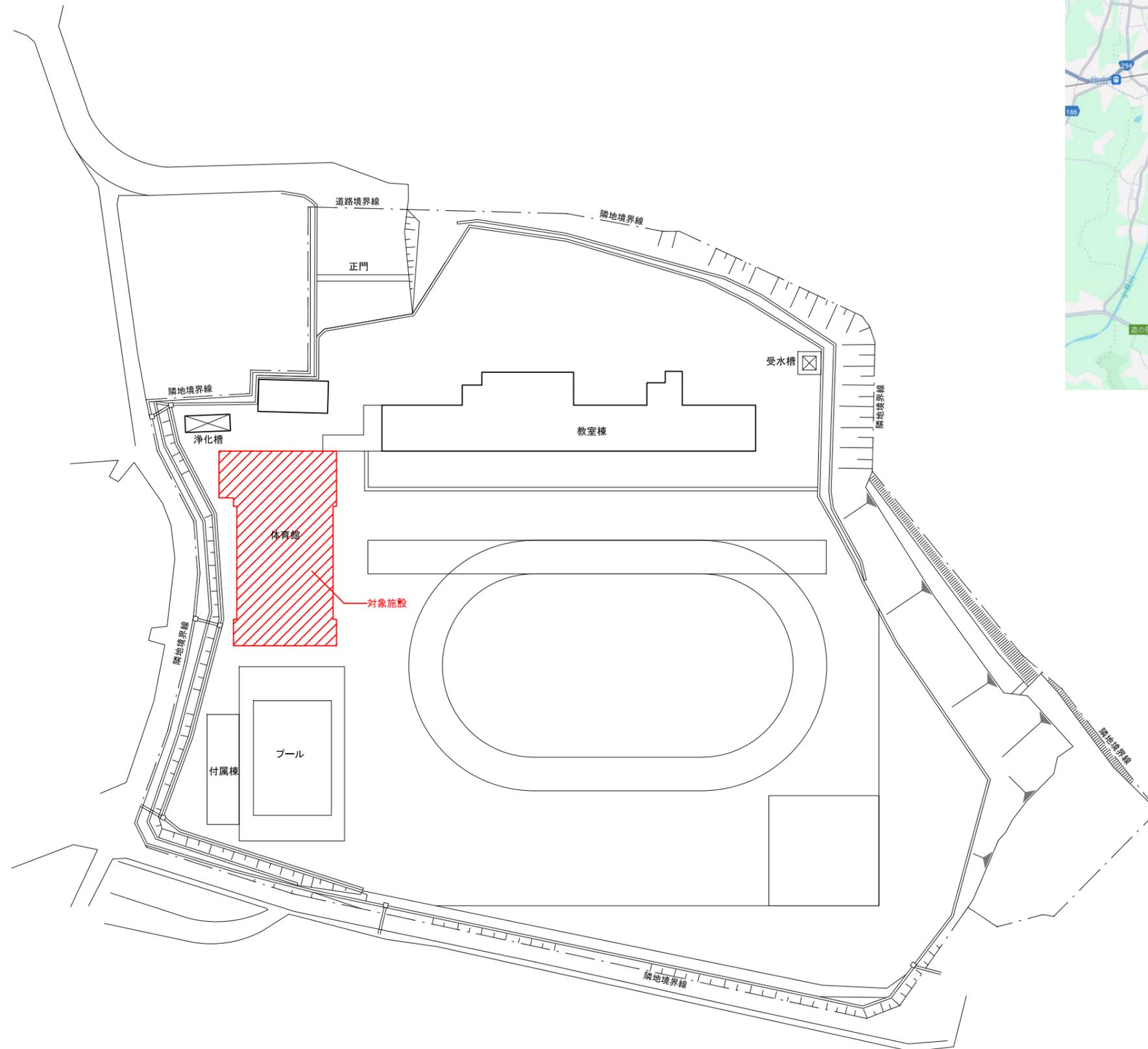
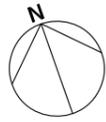
工事内容	●印を適用する				
	障 害 防 止 工 事	障 害 防 止 工 事	障 害 防 止 工 事	障 害 防 止 工 事	障 害 防 止 工 事
仮設電力の引込み(分電盤・キュービクルまで)	○	○	○	○	○
仮設電力の引込み(分電盤・キュービクル以降)	○	○	○	○	○
仮設電力の電気料	○	○	○	○	○
本受電後の電気基本料金	○	○	○	○	○
本受電後引渡しまでの電気使用料	○	○	○	○	○
仮設水道の引込み(メーターまで)	○	○	○	○	○
仮設水道の引込み(メーター以降)	○	○	○	○	○
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	○	○	○	○	○
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠(電気、機械の配管等)	○	○	○	○	○
すべての開口、貫通、埋込部の補強	○	○	○	○	○
屋上に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)	○	●	●	○	○
屋内及び屋外に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)	○	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の位置・墨出し	○	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	○	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	○	○	○	○	○
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強	○	○	○	○	○
天井換気扇の取付	○	○	○	○	○
壁・窓用換気扇の取付	○	○	○	○	○
壁・窓用換気扇取付枠	○	○	○	○	○
点検口の取付(床・壁・天井・PS等)	○	○	○	○	○
防煙ダンパー	○	○	○	○	○
防煙ダンパー用煙感知器の配管・配線	○	○	○	○	○
床仕上げ材の穴あけ(フローリングブロック等)	○	○	○	○	○
ルーフトレイン及び縦どい(樹及び側溝までの配管)	○	○	○	○	○
配線ビッド及び蓋	○	○	○	○	○
電線棒及びフロートスイッチ	○	○	○	○	○
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等2次側配線	○	○	○	○	○
機械設備の制御、操作壁への電源供給制御	○	●	○	○	○
機械設備の制御、操作壁の2次側配線	○	○	●	○	○
天井吊り形放熱器(FCU等)と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	○	○	○	○	○
消火栓箱総合盤用穴あけ	○	○	○	○	○
設備機器のインターロックの配管・配線	○	○	○	○	○
電気設備のフェンス・金網	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器(単設型)	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器(集中監視型)	○	○	○	○	○
ガス漏れ警報器用コンセント	○	○	○	○	○
造り付け流し台	○	○	○	○	○
造り付け流し台排水トラップ	○	○	○	○	○
既製流し台及び排水トラップ(ガス台・洗面化粧台等を含む)	○	○	○	○	○
既製吊戸棚	○	○	○	○	○
鏡(姿見は建築工事)	○	○	○	○	○
昇降機の出入口開口の型枠	○	○	○	○	○
昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	○	○	○	○	○
昇降機のビッド内保守用コンセント	○	○	○	○	○
外壁取付ガラリ、排煙口	○	○	○	○	○
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	○	○	○	○	○
昇降機インターホンの配管・配線	○	○	○	○	○

工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事		N.○	06065		管理建築士	古澤 康夫	
図名	機械設備工事特記仕様書(3)		設計	R07.02.28		一級建築士登録番号 223925号		
			相尺	S = N. S.		従事する建築士		
代表取締役 本 社	株式会社 フケタ設計		図面N.○	M-03		一級建築士登録番号 号		
	代表取締役 三梁 富男 一級建築士登録番号 89479号 TEL 028(422)8928 〒 栃木県宇都宮市大曾1丁目5番8号		承認	横	図	従事する建築士 一級建築士登録番号 号		

機器仕様表 (1)

図示記号	名称	機器仕様	備考	電源 消費電力			田野小学校		益子小学校		益子西小学校		七井小学校		設置台数合計
				相	電圧 : V	容量 : kw	アリーナ		コート		コート		アリーナ		
PAC-1	パッケージエアコン	(天井吊型. シングル) 160型 冷房能力 : 14.0kw 暖房能力 : 16.0kw 室内機 : 送風機 37.0m3/min×0.16kw 予備フィルター共 室外機 : 圧縮機 2.85kw 送風機 0.07kw×2 冷媒 : R32 防護ネット (細ピッチ仕様) 共 RC基礎 転倒防止金具	参考型式 : RP-GP160RGH7	3	200	4.94	8		9		6		7		30
						(室外機電源)									
	室内機取付架台	(ブラケット) 鋼製. OP 参考寸法 : 1,950W×1,000D×350H	L-50×50×6 t				8		9		6		7		30
	室内機防球ガード	1,950W×800D×300H 丸鋼 6φ ポリ粉体塗装	参考型式 : BG-2000 (ネミー)				8		9		6		7		30
RC	リモコン		PC-ARFG3				8		9		6		7		30

工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事		No.	06065		管理建築士	古澤 康夫	
図名	空調機器仕様表 (1) 小学校		設計	R07.02.28		一級建築士登録番号	223925号	
			相尺	S=N.S.		従事する建築士		
			図面No.	M-05		一級建築士登録番号		
株式会社 フケタ設計			代表取締役	三楽 富男		一級建築士登録番号	89479号	
			本社	栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号		TEL	028(622)8928	
承認			検			従事する建築士		
図			図			一級建築士登録番号		



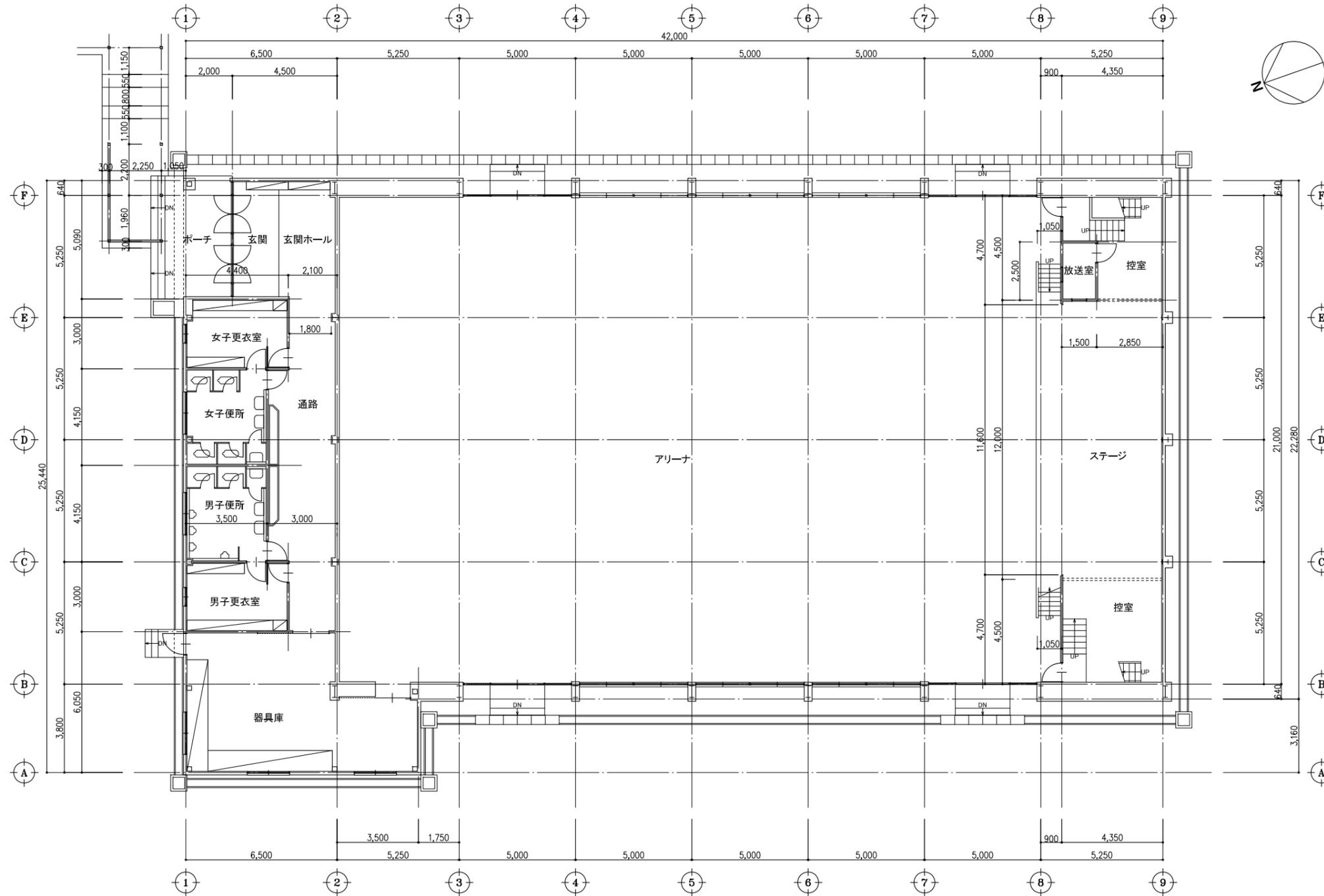
配置図 S=1/500



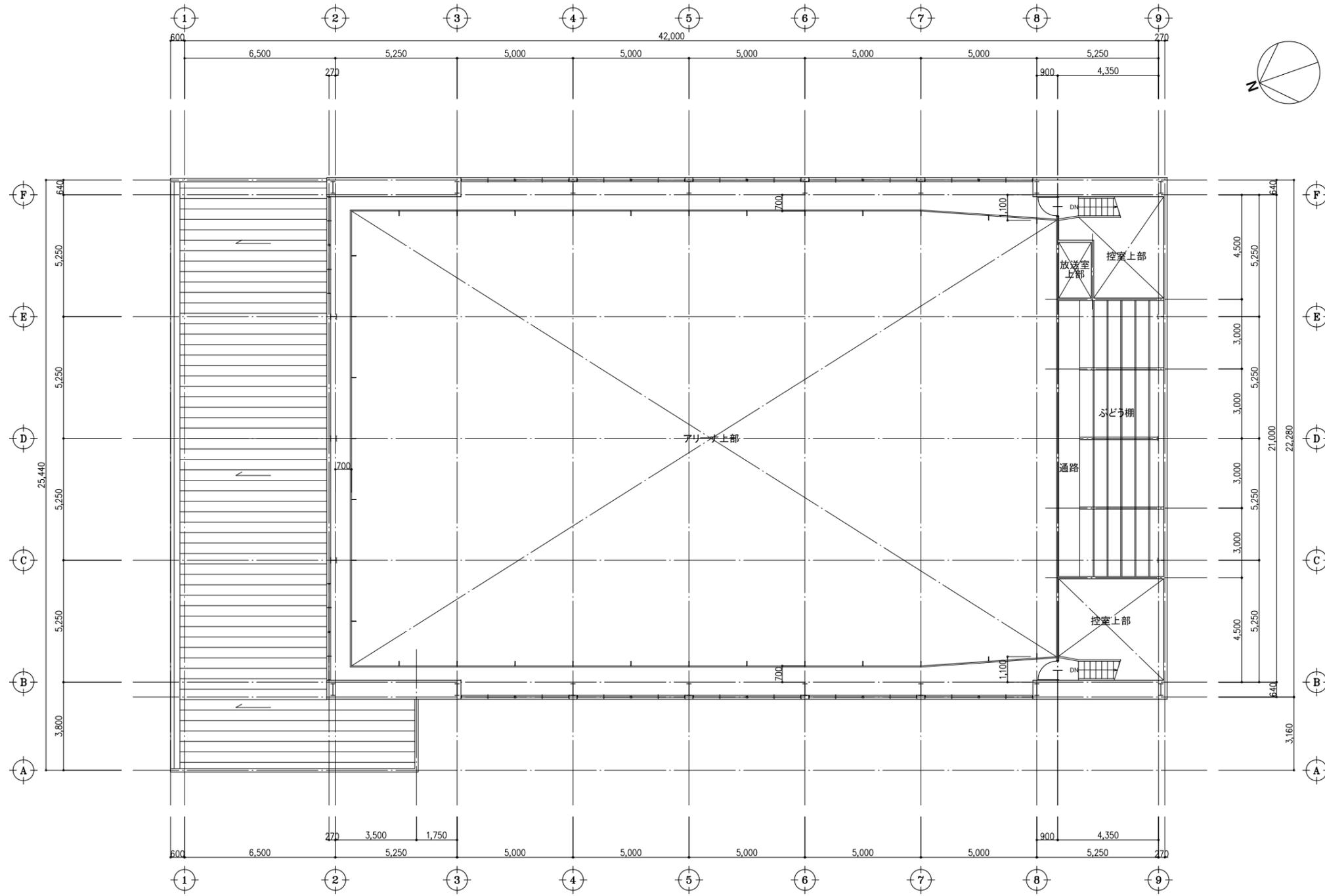
案内図 N.S

※今回の工事内容は赤文字で記載(全校共通)

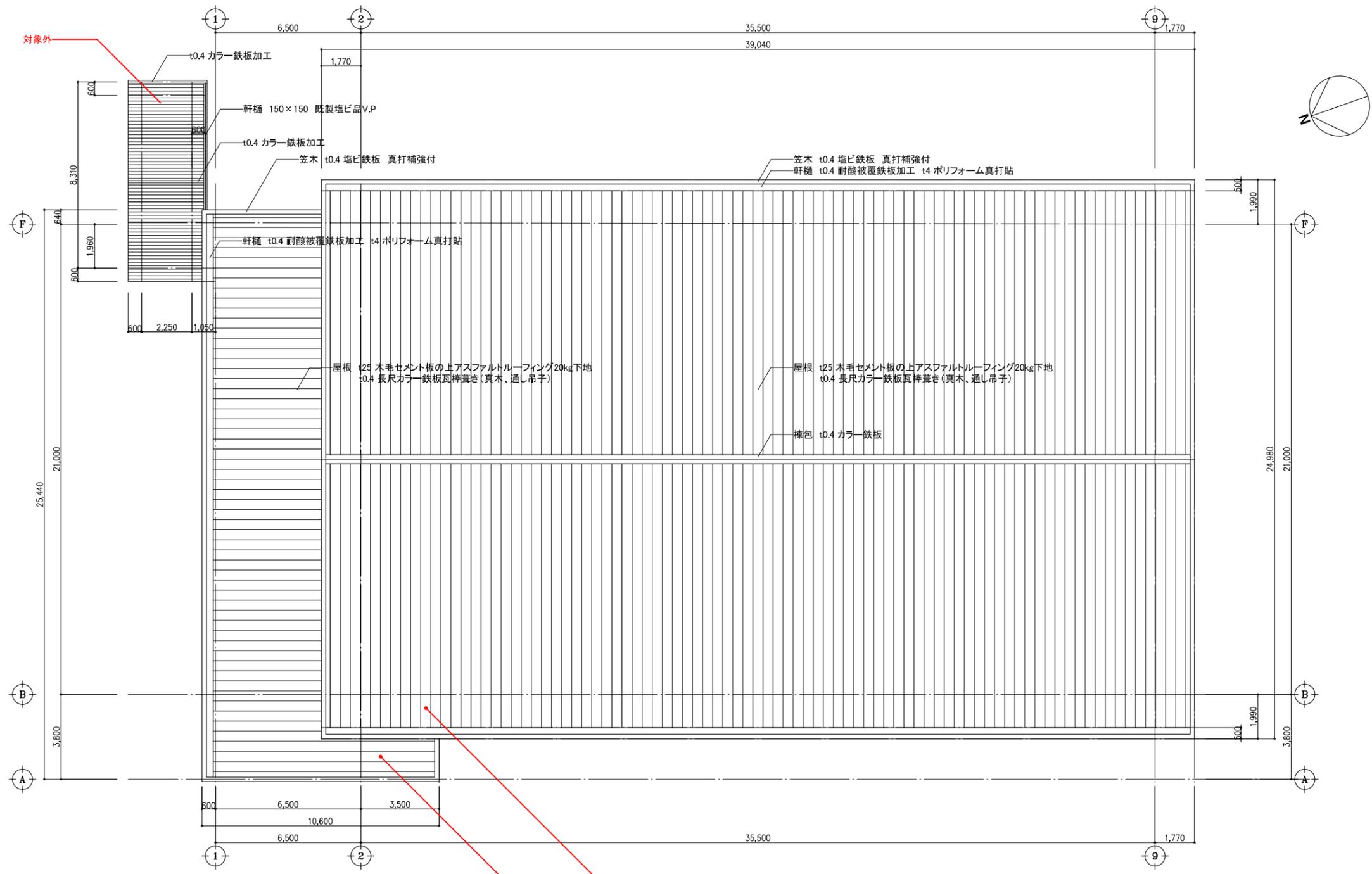
工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事	No.	06065	管理建築士	古澤 康夫
図名	配置図・案内図(田野小学校)	設計	R07.02.28	一級建築士登録番号	223925号
		相尺	A1:1/500, A3:1/1000	従事する建築士	
		図面No.	AA-01	一級建築士登録番号	
株式会社	フケタ設計	代表取締役	三梁 富男	一級建築士登録番号	89479号
本社	栃木県宇都宮市大曾1丁目5番8号	TEL	028(622)8928	従事する建築士	
承		概		一級建築士登録番号	
取		図			



工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事	No.	06065	管理建築士	古澤 康夫
図名	平面図(アリーナ)(田野小学校)	設計	R07.02.28	一級建築士登録番号	223925号
		縮尺	A1:1/100, A3:1/200	従事する建築士	
		図面No.	AA-02	一級建築士登録番号	号
代表取締役	三梁 富男	一級建築士登録番号	89479号	従事する建築士	
本社	栃木県宇都宮市大曾1丁目5番8号	TEL	028(622)8928	一級建築士登録番号	号



工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事	No.	06065	管理建築士	古澤 康夫
図名	平面図(キャットウォーク)(田野小学校)	設計	R07.02.28	一級建築士登録番号	223925号
		縮尺	A1:1/100, A3:1/200	従事する建築士	
		図面No.	AA-03	一級建築士登録番号	
	株式会社 フケタ設計	代表取締役	三梁 富男	一級建築士登録番号	89479号
	本社		栃木県宇都宮市大宮1丁目5番8号	TEL	028(622)8928
		承認		一級建築士登録番号	



2液弱溶剤シリコン系屋根用高日射反射率(遮熱)塗料(サーモアイSi同等品)
 下地処理(ケレンRB種)
 下地高圧洗浄(15Mpa程度)
 ※棟包、軒先、ケラバ役物全て含む

工事名	益子町立小学校体育館空調設備設置工事	No.	06065	管理建築士	古澤 康夫
図名	屋根伏図(田野小学校)	設計	R07.02.28	一級建築士登録番号	223925号
		縮尺	A1:1/100, A3:1/200	従事する建築士	
		図面No.	AA-04	一級建築士登録番号	
代表取締役	三柴 富男	一級建築士登録番号	89479号	従事する建築士	
本社	栃木県宇都宮市大曾1丁目5番8号	TEL	028(622)8928	一級建築士登録番号	